

動物実験に関する自己点検・評価報告書

和洋女子大学

2022 年 3 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 和洋女子大学動物実験等管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験(雛形)第3版(公私動協)に倣う形で2022年3月に規程を改正施行する予定。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 和洋女子大学動物実験等管理規程、動物実験委員会委員構成
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 和洋女子大学動物実験等管理規程の中で基本指針に則した委員会の役割や委員構成等が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
--

☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 和洋女子大学動物実験等管理規程、動物実験計画書、動物実験委員会審査報告書、動物実験計画書審査結果通知書、動物実験終了報告書、実験室設置承認申請書、飼養保管施設設置承認申請書、施設等廃止書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告に関する実施体制が規程によって定められ、適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☒ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 遺伝子組換え実験安全管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 遺伝子組換え実験安全管理規程第 1 条で「P1 レベルの物理的封じ込めを必要とする実験に限る」と定めているため、ここでいう動物実験には該当しない。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
--

☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 和洋女子大学動物実験管理規程、和洋女子大学動物実験マニュアル、飼養保管施設設置承認申請書、 実験室設置承認申請書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内において実験動物の飼養保管施設は把握されており、実験動物管理者も置いている。 和洋女子大学動物実験マニュアルを 2020 年 6 月に改正している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

委員会構成員として実験動物に優れた識見を有する外部委員を加えている。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 和洋女子大学動物実験等管理規程、動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たし、委員会を開催し、関連事項に関して審議した。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 和洋女子大学動物実験等管理規程、動物実験計画書、動物実験委員会審査報告書、動物実験計画書審査結果通知書、動物実験終了報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 規程違反する行為があり動物実験実施者に注意喚起をした。
4) 改善の方針、達成予定時期 申請書類の提出前の動物実験実施者全員による確認の徹底をする。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

☐ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☒ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験を行っていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物は適正に飼養保管されている。和洋女子大学動物実験マニュアルを 2020 年 6 月に改正している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 毎年、落下細菌検査及び消毒を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 教育訓練資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 公私立大学実験動物施設協議会主催の教育訓練を受講した教員を講師とし、動物実験に関わる学内の教職員を対象に、教育訓練を実施した。出席できなかった教員・学生は DVD を視聴した。
4) 改善の方針、達成予定時期 公私動協の教育訓練後の 7 月に毎年対面で開催し、未受講者が実験を実施する場合には、DVD 視聴で対応する。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ホームページ(動物実験に関する情報)
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書等の情報を公開している。

4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

--

表 1 令和 3 年度動物実験の実施における自己点検・調査に関する報告書集計

部局名	動物実験計画書の審査		動物実験従事者 及び飼養者数	飼養保管施設 の設置状況	飼養保管施設 から独立した 実験室
実施学類	許可件数	不許可 取り下げ数			
健康栄養学類	1	0	2 + 学生 17	4	1
合計	1	0	2 + 学生 17	4	1

表 2 令和 3 年度動物実験実施結果

所属	動物種	使用数	飼養数
健康栄養学類	ラット	0	0
	マウス	48	0
合 計	ラット	0	0
	マウス	48	0

2022年3月31日現在